当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 |
| 信託期間 | 2015年２月23日から2025年２月14日までです。 |
| 運用方針 | 投資信託証券への投資を通じて、高格付の先進国のソブリン債へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、わが国の農業に関連する上場（上場予定を含みます。）株式および世界の農業に関連する指数へ投資を行います。<br>実質組入外貨建資産について、先進国のソブリン債には原則として為替ヘッジを行い、世界の農業に関連する指数には原則として為替ヘッジを行いません。 |
| 主要投資対象 | 各資産への投資にあたっては、以下の投資信託証券を通じて行います。<br>投資対象資産 ／ 投資対象とする投資信託証券 ／ 組入比率<br>先進国のソブリン債 ／ 為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用） ／ 60%程度<br>農業関連の日本株式 ／ 農業関連日本株マザーファンド ／ 40%程度※<br>世界の農業に関連する指数 ／ 上場投資信託証券（ＥＴＦ） ／ 40%程度※<br>※指数に連動することを目指すＥＴＦの組入比率は、原則として10%以内とします。 |
| 投資制限 | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。<br>株式への直接投資は行いません。 |
| 分配方針 | 毎年２月14日および８月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。<br>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。<br>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 |

第７期

# 運用報告書（全体版）

# 為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称　うるおいの大地）

【2018年８月14日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称　うるおいの大地）」は、2018年８月14日に第７期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル 0120－048－214（営業日の9:00～17:00）

［ホームページ］
https://www.okasan-am.jp
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## ○最近５期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース) | | 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ） | | 為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)組入比率 | 農業関連日本株マザーファンド組入比率 | 上場投資信託証券（ＥＴＦ）組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (分配落) | 税込み分配金 | 期中騰落率 | (参考指数) | 期中騰落率 | (参考指数) | 期中騰落率 | | | | |
| | 円 | 円 | % | ポイント | % | ポイント | % | % | % | % | 百万円 |
| ３期(2016年８月15日) | 9,920 | 0 | △0.6 | 400.49 | 3.7 | 1,316.63 | 1.9 | 58.7 | 30.6 | 7.0 | 1,652 |
| ４期(2017年２月14日) | 10,174 | 0 | 2.6 | 379.84 | △5.2 | 1,539.12 | 16.9 | 55.7 | 33.8 | 7.0 | 1,517 |
| ５期(2017年８月14日) | 10,217 | 100 | 1.4 | 386.99 | 1.9 | 1,599.06 | 3.9 | 57.0 | 32.9 | 6.1 | 1,035 |
| ６期(2018年２月14日) | 10,242 | 100 | 1.2 | 379.64 | △1.9 | 1,702.72 | 6.5 | 56.9 | 32.2 | 6.2 | 991 |
| ７期(2018年８月14日) | 10,209 | 0 | △0.3 | 381.68 | 0.5 | 1,710.95 | 0.5 | 58.3 | 30.4 | 5.9 | 955 |

（注）基準価額および分配金（税引前）は１万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
（注）FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）および東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
（注）為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）と農業関連日本株マザーファンドの組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。
（注）上場投資信託証券（ＥＴＦ）は当期末現在、「Invesco DB Agriculture Fund」を組み入れており、組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース) | | 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ） | | 為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)組入比率 | 農業関連日本株マザーファンド組入比率 | 上場投資信託証券(ＥＴＦ)組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | (参考指数) | 騰落率 | (参考指数) | 騰落率 | | | |
| | 円 | % | ポイント | % | ポイント | % | % | % | % |
| (期首)<br>2018年２月14日 | 10,242 | － | 379.64 | － | 1,702.72 | － | 56.9 | 32.2 | 6.2 |
| ２月末 | 10,350 | 1.1 | 379.88 | 0.1 | 1,768.24 | 3.8 | 56.6 | 33.1 | 6.2 |
| ３月末 | 10,289 | 0.5 | 385.14 | 1.4 | 1,716.30 | 0.8 | 58.2 | 31.1 | 6.1 |
| ４月末 | 10,379 | 1.3 | 381.47 | 0.5 | 1,777.23 | 4.4 | 57.4 | 32.3 | 6.4 |
| ５月末 | 10,420 | 1.7 | 381.19 | 0.4 | 1,747.45 | 2.6 | 57.9 | 31.2 | 6.4 |
| ６月末 | 10,492 | 2.4 | 382.43 | 0.7 | 1,730.89 | 1.7 | 57.3 | 32.0 | 6.0 |
| ７月末 | 10,383 | 1.4 | 380.68 | 0.3 | 1,753.29 | 3.0 | 57.3 | 31.7 | 6.0 |
| (期末)<br>2018年８月14日 | 10,209 | △0.3 | 381.68 | 0.5 | 1,710.95 | 0.5 | 58.3 | 30.4 | 5.9 |

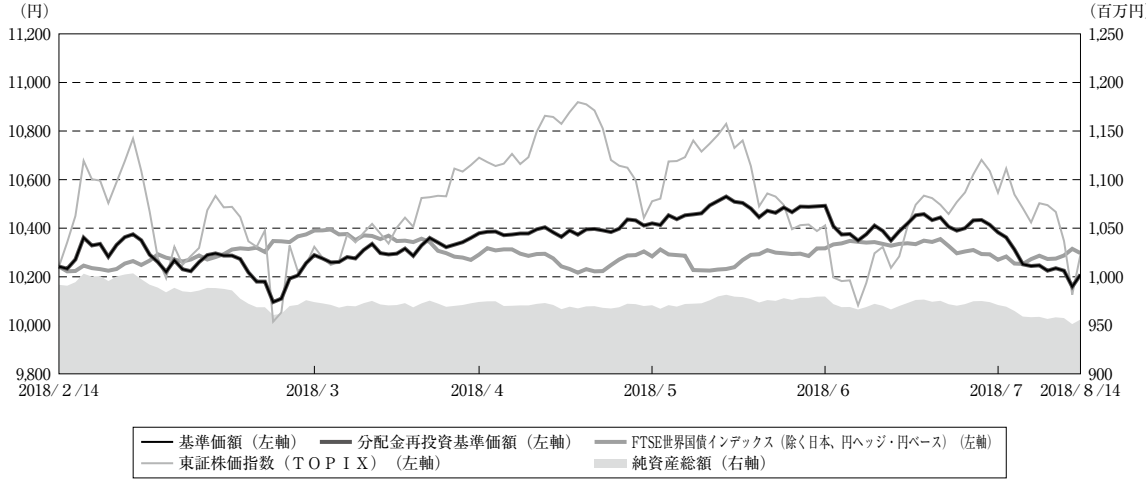
（注）騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

# 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

（2018年２月15日～2018年８月14日）




期　首：10,242円
期　末：10,209円（既払分配金（税引前）：0円）
騰落率：　△0.3％（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）および東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）です。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2018年２月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

**○基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

**（主なプラス要因）**

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・スウェーデン国債、ドイツ国債の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。

○農業関連日本株マザーファンド

・クミアイ化学工業、日産化学、アグロ　カネショウなどの株価が上昇したことがプラス要因となりました。

**（主なマイナス要因）**

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・シンガポール国債の利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したことがマイナス要因となりました。

○農業関連日本株マザーファンド

・クボタ、タカキタ、ヨシムラ・フード・ホールディングスなどの株価が下落したことがマイナス要因となりました。

保有していたInvesco DB Agriculture Fund（ＥＴＦ）の価格（円換算後）が値下がりしたことがマイナス要因となりました。

## 投資環境

（2018年２月15日～2018年８月14日）

債券市場は、欧州の政治リスクやトランプ米政権の保護主義的な政策への懸念の高まりに加えて、欧米の株価下落による投資家のリスク回避の動きを背景に、主要国の債券利回りが低下しました。その後、原油高に伴う期待インフレ率の高まりや、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による今後の利上げペースが加速するとの見方が強まった影響から、５月半ばにかけて主要国の債券利回りが上昇する場面も見られました。しかし、期末にかけては米国と他の主要国との貿易摩擦への懸念や欧州の政治不安などから、総じて利回りが低下傾向となりました。

国内株式市場は、上値の重い展開となりました。円高ドル安の一服や北朝鮮情勢に対する懸念の後退、国内上場企業の業績拡大に対する期待などを背景に、国内株式市場は５月中旬にかけて上昇しました。しかしその後は、米中貿易摩擦の激化に対する懸念の高まりを受けて下落しました。

農産物市場は、軟調な動きとなりました。新興・資源国通貨に対して米ドルが上昇したことを受けて、主要な農産物輸出国であるブラジルやアルゼンチンなどから輸出が増加するとの観測が拡がりました。また、米中の貿易摩擦の激化を受けて、中国が米国産大豆や豚肉に報復関税をかけたことも、米国産農産物の需要減少懸念から相場を下押す要因となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2018年２月15日～2018年８月14日）

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率が60％程度、「農業関連日本株マザーファンド」と世界の農業に関連する指数に連動することを目指す上場投資信託証券（ＥＴＦ）の組入比率の合計が40％程度となるように組入れを行いました。

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」では、米国債やシンガポール国債の組入比率を引き下げる一方、欧州国債の組入比率を引き上げました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分の調整を行い、当期間におきましては中長期ゾーンの比率をやや高めとしました。

「農業関連日本株マザーファンド」では、海外における調味料の中期的な売上拡大が期待された食料関連銘柄などを新規に組み入れた一方、海外の農薬販売の減速による業績への悪影響が懸念された農業関連銘柄などを売却しました。

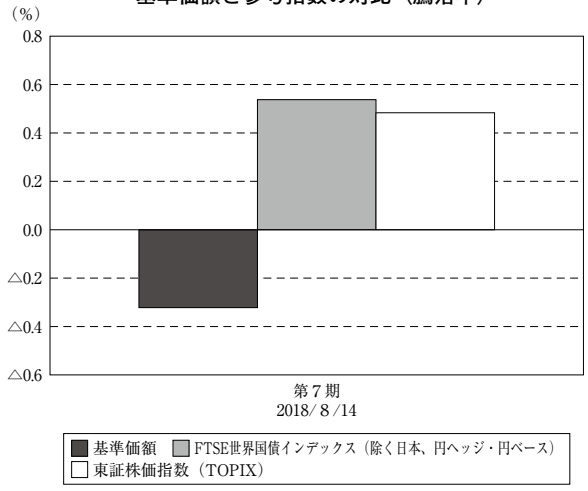
ＥＴＦにつきましては、Invesco DB Agriculture Fundの組入れを継続しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年２月15日～2018年８月14日）

当ファンドの基準価額は下落しました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）、東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）いずれも上昇となりました。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）




（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注）参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）、東証株価指数（TOPIX）です。

## 分配金

（2018年２月15日～2018年８月14日）

当ファンドは、毎年２月14日および８月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額として、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

この基本方針に則り、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、１万口当たり・税引前）

| 項目 | 第７期<br>2018年２月15日～<br>2018年８月14日 |
|---|---|
| 当期分配金 | － |
| （対基準価額比率） | －％ |
| 当期の収益 | － |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 629 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

**（投資環境）**

債券市場については、ＦＲＢや欧州中央銀行（ＥＣＢ）による金融政策の緩やかな正常化が見込まれる一方、米国の保護主義姿勢が強まる懸念や欧州の政治情勢を巡る不透明感を背景に、利回りが概ねレンジ内で推移すると考えます。

国内株式市場は、中期的に上昇基調で推移すると予想します。米中貿易摩擦など国際情勢の不透明感などから、短期的に値動きが荒くなる局面があるものの、日本企業の業績拡大への期待や株価指標面での割安感などが株価を押し上げる材料になると考えます。

農産物市場は、世界的な異常気象により各地で収穫高の減少が懸念されているほか、米中貿易摩擦も徐々に緩和の方向に進んでいくと考えられることから、下げ止まりから反発局面に入ると予想します。

**（運用方針）**

**＜為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称　うるおいの大地）＞**

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率が60％程度、「農業関連日本株マザーファンド」と世界の農業に関連する指数に連動することを目指すＥＴＦの組入比率の合計が40％程度となるように運用を行っていく方針です。なお、ＥＴＦにつきましてはInvesco DB Agriculture Fundの組入れを維持する方針です。

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

国別投資比率については、米国債の比率を引き下げ、欧州国債へシフトさせる方針です。また、利回りが上昇する局面では、期間が長めの債券の比率を引き上げる方針です。

○農業関連日本株マザーファンド

農業・食料・バイオ等、広く農業に関連する国内の株式の中から成長性、バリュエーション等を勘案して銘柄を選定します。

当面は、新興国を中心に海外での中期的な事業拡大余地が大きいと考えられる種苗関連株などの組入比率を高位とする方針です。

## ○１万口当たりの費用明細

（2018年２月15日～2018年８月14日）

| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 | 43 | 0.418 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (17) | (0.161) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | (25) | (0.241) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | ( 2) | (0.016) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.014 | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株式） | ( 1) | (0.014) | |
| (c) その他費用 | 3 | 0.027 | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 2) | (0.020) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | ( 1) | (0.006) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | ( 0) | (0.000) | その他は、金銭信託支払手数料 |
| 合計 | 47 | 0.459 | |
| 期中の平均基準価額は、10,385円です。 | | | |

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2018年２月15日～2018年８月14日）

**○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。**

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|---|---|---|---|---|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 農業関連日本株マザーファンド | － | － | 21,533 | 30,000 |

（注）単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

（2018年２月15日～2018年８月14日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | 農業関連日本株マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額 | 113,904千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 281,461千円 |
| (c) 売買高比率(a)／(b) | 0.40 |

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

（2018年２月15日～2018年８月14日）

### 利害関係人との取引状況

＜為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称　うるおいの大地）＞

該当事項はございません。

＜農業関連日本株マザーファンド＞

| 区分 | 買付額等 A | うち利害関係人との取引状況B | B/A | 売付額等 C | うち利害関係人との取引状況D | D/C |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | 百万円 | % |
| 株式 | 43 | 8 | 18.6 | 69 | 22 | 31.9 |

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| 売買委託手数料総額(A) | 137千円 |
| うち利害関係人への支払額(B) | 32千円 |
| (B)／(A) | 23.3% |

（注）売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

## ○組入資産の明細

（2018年８月14日現在）

### 外国投資信託証券

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口数 | 口数 | 評価額 | | 比率 |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (アメリカ) | | 口 | 口 | 千米ドル | 千円 | % |
| Invesco DB Agriculture Fund | | 29,950 | 29,950 | 511 | 56,669 | 5.9 |
| 合計 | 口数・金額 | 29,950 | 29,950 | 511 | 56,669 | |
| | 銘柄数<比率> | 1 | 1 | － | <5.9%> | |

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）邦貨換算金額欄の<　>内は、純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率。
（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | | |
|---|---|---|---|---|
| | 口数 | 口数 | 評価額 | 比率 |
| | 口 | 口 | 千円 | % |
| 為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用） | 668,098,905 | 668,098,905 | 557,194 | 58.3 |
| 合計 | 668,098,905 | 668,098,905 | 557,194 | 58.3 |

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

### 親投資信託残高

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| 農業関連日本株マザーファンド | 234,826 | 213,293 | 290,441 |

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2018年８月14日現在）

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 投資信託受益証券 | 613,863 | 63.9 |
| 農業関連日本株マザーファンド | 290,441 | 30.3 |
| コール・ローン等、その他 | 55,782 | 5.8 |
| 投資信託財産総額 | 960,086 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切捨て。
（注）当期末における外貨建純資産（56,669千円）の投資信託財産総額（960,086千円）に対する比率は5.9%です。
（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは１米ドル＝110.78円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年８月14日現在)

| 項　　目 | 当　期　末 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 資産 | 960,086,939 |
| コール・ローン等 | 55,781,779 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 613,863,551 |
| 農業関連日本株マザーファンド(評価額) | 290,441,609 |
| (B) 負債 | 4,134,563 |
| 未払信託報酬 | 4,071,510 |
| 未払利息 | 68 |
| その他未払費用 | 62,985 |
| (C) 純資産総額(Ａ－Ｂ) | 955,952,376 |
| 元本 | 936,409,163 |
| 次期繰越損益金 | 19,543,213 |
| (D) 受益権総口数 | 936,409,163口 |
| １万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ) | 10,209円 |

(注) 計算期間末における１口当たりの純資産額は、1.0209円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は968,232,702円、期中追加設定元本額は8,114,579円、期中一部解約元本額は39,938,118円です。

## ○損益の状況 (2018年２月15日～2018年８月14日)

| 項　　目 | 当　期 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 11,937,906 |
| 受取配当金 | 11,952,572 |
| 受取利息 | 87 |
| 支払利息 | △ 14,753 |
| (B) 有価証券売買損益 | △10,931,617 |
| 売買益 | 2,942,919 |
| 売買損 | △13,874,536 |
| (C) 信託報酬等 | △ 4,333,623 |
| (D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ) | △ 3,327,334 |
| (E) 前期繰越損益金 | 19,958,524 |
| (F) 追加信託差損益金 | 2,912,023 |
| (配当等相当額) | ( 2,288,239) |
| (売買損益相当額) | ( 623,784) |
| (G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ) | 19,543,213 |
| (H) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ) | 19,543,213 |
| 追加信託差損益金 | 2,912,023 |
| (配当等相当額) | ( 2,291,091) |
| (売買損益相当額) | ( 620,932) |
| 分配準備積立金 | 56,638,318 |
| 繰越損益金 | △40,007,128 |

(注) 損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

| 決算期 | 第７期 |
|---|---|
| (a) 配当等収益(費用控除後) | 9,672,568円 |
| (b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後) | 0円 |
| (c) 信託約款に規定する収益調整金 | 2,291,091円 |
| (d) 信託約款に規定する分配準備積立金 | 46,965,750円 |
| 分配対象収益(ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ) | 58,929,409円 |
| 分配対象収益(１万口当たり) | 629円 |
| 分配金額 | 0円 |
| 分配金額(１万口当たり) | 0円 |

## ＜お知らせ＞

該当事項はございません。

**用語解説**

**○資産、負債、元本及び基準価額の状況**は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| **資産** | ファンドが保有する財産の合計です。 |
| コール・ローン等 | 金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。 |
| 各種有価証券等(評価額) | 組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。 |
| 未収入金 | 入金が予定されている有価証券の売却代金などです。 |
| 未収配当金 | 入金が予定されている株式の配当金等です。 |
| 未収利息 | 入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。 |
| **負債** | 支払いが予定されている金額の合計です。 |
| 未払収益分配金 | 期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。 |
| 未払解約金 | 支払いが予定されている解約金です。 |
| 未払信託報酬 | 支払いが予定されている信託報酬の額です。 |
| その他未払費用 | 支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。 |
| **純資産総額(資産－負債)** | ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。 |
| 元本 | ファンド全体の元本残高です。 |
| 次期繰越損益金 | 純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。 |
| **受益権総口数** | 受益者が保有する受益権口数の合計です。 |
| **1(万)口当たり基準価額** | 1(万)口当たりのファンドの時価です。 |

**用語解説**

**○損益の状況**は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| **配当等収益** | ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。 |
| 受取配当金 | 保有する株式等の配当金等です。 |
| 受取利息 | 債券、コール・ローン等の利息等です。 |
| **有価証券売買損益** | 有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。 |
| 売買益 | 売買益と期末評価益の合計です。 |
| 売買損 | 売買損と期末評価損の合計です。 |
| **信託報酬等** | 信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。 |
| **当期損益金** | 当期における収支合計です。 |
| **前期繰越損益金** | 前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。 |
| **追加信託差損益金** | 受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。 |
| (配当等相当額) | 配当等に相当する額です。 |
| (売買損益相当額) | 売買損益に相当する額です。 |
| **計** | 収益分配前の期中の収支の総合計です。 |
| **収益分配金** | 期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。 |
| **次期繰越損益金** | 翌期に繰り越す損益金の合計です。 |
| 追加信託差損益金 | 翌期に繰り越す追加信託差損益金です。 |
| (配当等相当額) | 配当等に相当する額です。 |
| (売買損益相当額) | 売買損益に相当する額です。 |
| 分配準備積立金 | 翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。 |
| 繰越損益金 | 翌期に繰り越す損益金の額です。 |

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年８月14日現在）

### ＜農業関連日本株マザーファンド＞

下記は、農業関連日本株マザーファンド全体（213,293千口）の内容です。

#### 国内株式

| 銘柄 | 期首（前期末） | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| **水産・農林業（7.2%）** | | | |
| サカタのタネ | 5 | 5 | 18,925 |
| **食料品（33.6%）** | | | |
| 日清製粉グループ本社 | － | 3.5 | 7,539 |
| 山崎製パン | － | 1.5 | 3,285 |
| アサヒグループホールディングス | 3.5 | 3.5 | 17,503 |
| 宝ホールディングス | 14 | 14 | 15,442 |
| 伊藤園 | 3.5 | 2.5 | 11,862 |
| キッコーマン | － | 2.8 | 13,972 |
| ハウス食品グループ本社 | 4 | 3.5 | 12,127 |
| カゴメ | 4.8 | 2 | 6,250 |
| ヨシムラ・フード・ホールディングス | 7 | － | － |
| **化学（36.1%）** | | | |
| 日産化学 | 4.4 | 3.4 | 16,065 |
| クレハ | 2.5 | 2.5 | 18,850 |
| 日本曹達 | 26 | 26 | 16,354 |
| 三井化学 | 5.7 | － | － |
| エス・ディー・エス　バイオテック | 15.1 | 14.6 | 11,796 |
| アグロ　カネショウ | 7 | 5 | 15,125 |
| クミアイ化学工業 | 15 | 15 | 13,665 |
| 日本農薬 | － | 4 | 2,788 |
| **機械（10.4%）** | | | |
| 井関農機 | 5.5 | － | － |
| タカキタ | 17.9 | 17.9 | 10,686 |
| クボタ | 11.3 | 10 | 16,720 |
| **卸売業（1.8%）** | | | |
| 西本Ｗｉｓｍｅｔｔａｃホールディングス | 1 | 1 | 4,645 |
| **小売業（10.9%）** | | | |
| コメリ | 5.4 | 5.4 | 14,693 |
| イオン | － | 6 | 13,854 |
| 合計　株数・金額 | 158 | 149 | 262,149 |
| 合計　銘柄数〈比率〉 | 19 | 21 | 〈90.3%〉 |

（注）銘柄欄の（　）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
（注）合計欄の〈　〉内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 2009年11月16日から原則として無期限です。 |
| 運用方針 | 先進国のソブリン債（国債及び政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。<br>投資するソブリン債は、FTSE世界国債インデックス（参考市場を含む）の採用国のうち、取得時において、ＡＡＡ格相当の自国通貨建て長期債務格付けを有する国のソブリン債とします。<br>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。<br>投資にあたっては、長短金利水準のほか、イールドカーブ分析、ファンダメンタルズ分析等により国別投資比率とデュレーションを決定します。<br>ポートフォリオ全体のデュレーションは、８年以内とします。ただし、ポートフォリオの見直し時や市場環境が大幅に変化した場合等には、このようにならない場合があります。 |
| 主要投資対象 | 海外のソブリン債（国債及び政府保証債等）を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎月７日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき、収益分配を行います。<br>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。<br>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。ただし、分配可能額が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。 |

# 運用報告書（全体版）

## 為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

第94期（決算日 2017年10月10日）　第97期（決算日 2018年１月９日）
第95期（決算日 2017年11月７日）　第98期（決算日 2018年２月７日）
第96期（決算日 2017年12月７日）　第99期（決算日 2018年３月７日）

**受益者の皆様へ**

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」は、2018年３月７日に第99期決算を迎えましたので、過去６ヵ月間（第94期～第99期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル 0120－048－214
（営業日の9:00～17:00）
ホームページ http://www.okasan-am.jp

## ○最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | (分配落) | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 70期(2015年10月７日) | 9,560 | 30 | 0.7 | 94.6 | － | 3,524 |
| 71期(2015年11月９日) | 9,403 | 30 | △1.3 | 96.9 | － | 3,337 |
| 72期(2015年12月７日) | 9,416 | 30 | 0.5 | 96.8 | － | 3,331 |
| 73期(2016年１月７日) | 9,423 | 30 | 0.4 | 92.3 | － | 3,229 |
| 74期(2016年２月８日) | 9,534 | 30 | 1.5 | 94.0 | － | 2,996 |
| 75期(2016年３月７日) | 9,478 | 30 | △0.3 | 94.8 | － | 2,888 |
| 76期(2016年４月７日) | 9,494 | 30 | 0.5 | 92.0 | － | 2,783 |
| 77期(2016年５月９日) | 9,446 | 30 | △0.2 | 92.0 | － | 2,709 |
| 78期(2016年６月７日) | 9,443 | 30 | 0.3 | 93.4 | － | 2,688 |
| 79期(2016年７月７日) | 9,504 | 30 | 1.0 | 86.9 | － | 2,696 |
| 80期(2016年８月８日) | 9,446 | 30 | △0.3 | 89.9 | － | 2,639 |
| 81期(2016年９月７日) | 9,431 | 30 | 0.2 | 91.7 | － | 2,655 |
| 82期(2016年10月７日) | 9,323 | 30 | △0.8 | 96.0 | － | 2,648 |
| 83期(2016年11月７日) | 9,291 | 30 | △0.0 | 97.1 | － | 2,594 |
| 84期(2016年12月７日) | 9,039 | 30 | △2.4 | 98.9 | － | 2,513 |
| 85期(2017年１月10日) | 8,987 | 30 | △0.2 | 94.8 | － | 2,478 |
| 86期(2017年２月７日) | 8,965 | 30 | 0.1 | 91.7 | － | 2,470 |
| 87期(2017年３月７日) | 8,925 | 30 | △0.1 | 94.8 | － | 2,432 |
| 88期(2017年４月７日) | 8,933 | 30 | 0.4 | 93.1 | － | 2,315 |
| 89期(2017年５月８日) | 8,911 | 30 | 0.1 | 95.0 | － | 2,270 |
| 90期(2017年６月７日) | 8,951 | 30 | 0.8 | 93.1 | － | 2,192 |
| 91期(2017年７月７日) | 8,818 | 30 | △1.2 | 96.2 | － | 2,086 |
| 92期(2017年８月７日) | 8,809 | 30 | 0.2 | 95.7 | － | 1,960 |
| 93期(2017年９月７日) | 8,822 | 30 | 0.5 | 95.0 | － | 1,941 |
| 94期(2017年10月10日) | 8,726 | 30 | △0.7 | 96.1 | － | 1,849 |
| 95期(2017年11月７日) | 8,736 | 30 | 0.5 | 96.1 | － | 1,833 |
| 96期(2017年12月７日) | 8,713 | 30 | 0.1 | 95.6 | － | 1,815 |
| 97期(2018年１月９日) | 8,610 | 30 | △0.8 | 97.9 | － | 1,794 |
| 98期(2018年２月７日) | 8,464 | 30 | △1.3 | 96.3 | － | 1,763 |
| 99期(2018年３月７日) | 8,419 | 30 | △0.2 | 92.8 | － | 1,754 |

（注）基準価額および分配金（税引前）は１万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
（注）当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。
（注）債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

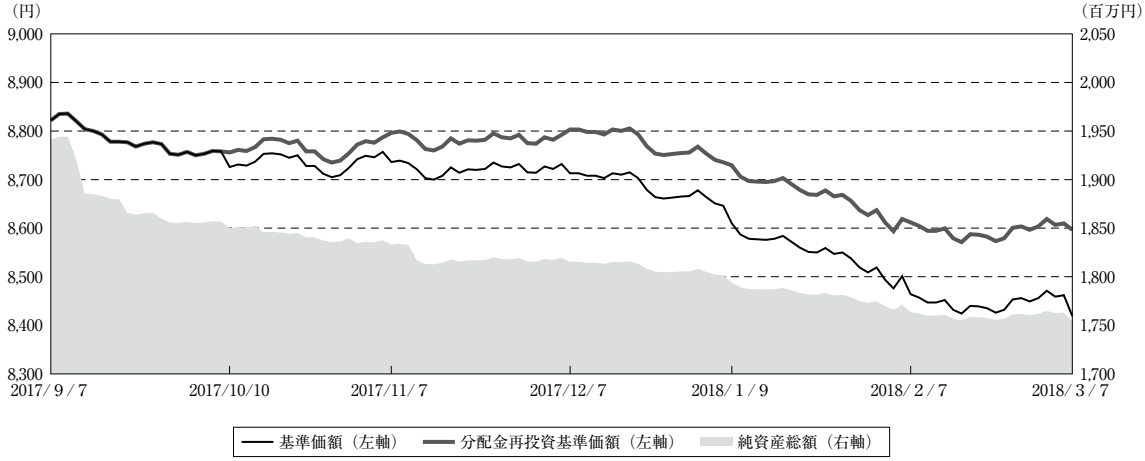
| 決算期 | 年　月　日 | 基準価額 | 騰落率 | 債券組入比率 | 債券先物比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 円 | % | % | % |
| 第94期 | （期　首）<br>2017年９月７日 | 8,822 | － | 95.0 | － |
| | ９月末 | 8,751 | △0.8 | 96.7 | － |
| | （期　末）<br>2017年10月10日 | 8,756 | △0.7 | 96.1 | － |
| 第95期 | （期　首）<br>2017年10月10日 | 8,726 | － | 96.1 | － |
| | 10月末 | 8,742 | 0.2 | 95.4 | － |
| | （期　末）<br>2017年11月７日 | 8,766 | 0.5 | 96.1 | － |
| 第96期 | （期　首）<br>2017年11月７日 | 8,736 | － | 96.1 | － |
| | 11月末 | 8,715 | △0.2 | 95.1 | － |
| | （期　末）<br>2017年12月７日 | 8,743 | 0.1 | 95.6 | － |
| 第97期 | （期　首）<br>2017年12月７日 | 8,713 | － | 95.6 | － |
| | 12月末 | 8,664 | △0.6 | 97.1 | － |
| | （期　末）<br>2018年１月９日 | 8,640 | △0.8 | 97.9 | － |
| 第98期 | （期　首）<br>2018年１月９日 | 8,610 | － | 97.9 | － |
| | １月末 | 8,509 | △1.2 | 95.9 | － |
| | （期　末）<br>2018年２月７日 | 8,494 | △1.3 | 96.3 | － |
| 第99期 | （期　首）<br>2018年２月７日 | 8,464 | － | 96.3 | － |
| | ２月末 | 8,449 | △0.2 | 93.8 | － |
| | （期　末）<br>2018年３月７日 | 8,449 | △0.2 | 92.8 | － |

（注）期末基準価額は１万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

# 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2017年９月８日～2018年３月７日）




第94期首：8,822円
第99期末：8,419円（既払分配金（税引前）：180円）
騰 落 率：△2.6％（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年９月７日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

**（主なプラス要因）**

・特にありません。

**（主なマイナス要因）**

・米国債、カナダ国債、ドイツ国債、シンガポール国債の利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したことがマイナス要因となりました。

## 投資環境

（2017年９月８日～2018年３月７日）

**（債券市場）**

2017年12月中旬にかけて、堅調な米国経済や米税制改革への期待等を背景に米国の債券利回りが上昇した一方、欧州における政治リスクの強まりや物価の伸び悩みを背景に、米国を除く主要国で債券利回りが緩やかに低下しました。しかしその後は、カナダ中央銀行や欧州中央銀行（ＥＣＢ）などの金融政策正常化への動きが意識されたことから、主要国の債券利回りが上昇基調を辿りました。作成期末にかけては、ドイツ政局とイタリア総選挙に対する不透明感や、ＥＣＢによる早期の金融政策正常化観測の後退などを受けて、主要国の債券利回りが低下しました。

**（為替市場）**

為替市場は、カナダドルやスウェーデンクローナが2017年12月中旬にかけて対円で弱含む場面も見られましたが、米税制改革への期待や、ＥＣＢの一部高官から現在の金融緩和の出口を意識させる発言が相次いだこと、日銀の緩和的な金融政策の継続を背景に、主要通貨が対円で堅調に推移しました。2018年以降は、日銀の金融政策正常化への動きが意識されたことや、世界的な株安を受けたリスク回避の動きなどを背景に、主要通貨が対円で下落基調を辿りました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2017年９月８日～2018年３月７日）

**（債券組入比率）**

当作成期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

**（為替ヘッジ比率）**

米ドル、カナダドル、ユーロ、スウェーデンクローナ、シンガポールドルに対して為替ヘッジを行い、当作成期間を通じて、高位のヘッジ比率を維持しました。

**（国別投資比率および年限別投資配分）**

アメリカ、カナダ、ドイツ、スウェーデン、シンガポールの国債に投資しました。当作成期間におきましては、米国債、シンガポール国債の比率を比較的高位としました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分を調整しました。当作成期間におきましては、中長期ゾーンの比率をやや高めとしました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年９月８日～2018年３月７日）

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## 分配金

（2017年９月８日～2018年３月７日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、第94期から第99期の決算期に、それぞれ１万口当たり30円（税引前）、合計180円（税引前）の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

## 今後の運用方針

**（投資環境）**

債券市場につきましては、米国は、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が利上げ継続に前向きな姿勢を示していることや、財政赤字拡大への懸念が高まっていることから、当面は利回り上昇が進行しやすいと見ています。ユーロ圏については、ＥＣＢが金融政策の正常化を慎重に進めると見込まれることから、利回りの上昇は限定的と予想します。

為替市場につきましては、黒田日銀総裁が続投する見通しとなったことにより、日銀の金融緩和姿勢が当面維持される可能性が高いことは、主要通貨の対円でのサポート要因となるものの、米国の財政悪化懸念や、ＥＣＢの早期の金融政策正常化観測の後退などから、主要通貨が対円で上値の重い展開を予想しています。

**（運用方針）**

自国通貨建て長期債務格付けがＡＡＡ格相当であるＦＴＳＥ世界国債インデックス（参考市場を含む）の構成国の中から、長短金利水準、イールドカーブ分析、ファンダメンタルズ分析を勘案して選定した債券に投資を行うとともに、外貨建資産については、為替ヘッジを行う方針です。当面は、米国債の比率を引き下げ、欧州国債へシフトさせる方針です。

### ○１万口当たりの費用明細

（2017年９月８日～2018年３月７日）

| 項目 | 第94期～第99期 金額 | 第94期～第99期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 | 9 | 0.107 | (a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | ( 7) | (0.080) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | ( 0) | (0.005) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | ( 2) | (0.021) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 | 2 | 0.025 | (b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 2) | (0.018) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | ( 1) | (0.006) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | ( 0) | (0.000) | その他は、金銭信託支払手数料 |
| 合計 | 11 | 0.132 | |
| 作成期間中の平均基準価額は、8,638円です。 | | | |

（注）作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2017年９月８日～2018年３月７日）

### 公社債

| | | | 第　94　期　～　第　99　期 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 買付額 | 売付額 |
| 外国 | アメリカ | 国債証券 | 千米ドル<br>1,712 | 千米ドル<br>2,217 |
| | カナダ | 国債証券 | 千カナダドル<br>730 | 千カナダドル<br>1,532 |
| | ユーロ | | 千ユーロ | 千ユーロ |
| | ドイツ | 国債証券 | 141 | － |
| | スウェーデン | 国債証券 | 千スウェーデンクローナ<br>3,447 | 千スウェーデンクローナ<br>－ |
| | シンガポール | 国債証券 | 千シンガポールドル<br>－ | 千シンガポールドル<br>331 |

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2017年９月８日～2018年３月７日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2018年３月７日現在）

### 外国公社債

（A）外国（外貨建）公社債　種類別開示

| 区分 | 第99期末 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 額面金額 | 評価額 | | 組入比率 | うちＢＢ格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | ５年以上 | ２年以上 | ２年未満 |
| | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | % | % | % | % | % |
| アメリカ | 4,800 | 5,638 | 595,504 | 33.9 | － | 12.3 | 18.3 | 3.4 |
| | 千カナダドル | 千カナダドル | | | | | | |
| カナダ | 1,900 | 2,644 | 215,658 | 12.3 | － | 12.3 | － | － |
| ユーロ | 千ユーロ | 千ユーロ | | | | | | |
| ドイツ | 1,000 | 1,471 | 192,933 | 11.0 | － | 11.0 | － | － |
| | 千スウェーデンクローナ | 千スウェーデンクローナ | | | | | | |
| スウェーデン | 21,000 | 22,751 | 292,580 | 16.7 | － | 16.7 | － | － |
| | 千シンガポールドル | 千シンガポールドル | | | | | | |
| シンガポール | 3,900 | 4,121 | 330,374 | 18.8 | － | 9.3 | 9.5 | － |
| 合計 | － | － | 1,627,052 | 92.8 | － | 61.6 | 27.8 | 3.4 |

（注）邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（B）外国（外貨建）公社債　銘柄別開示

| 銘柄 | | | 第99期末 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 利率 | 額面金額 | 評価額 | | 償還年月日 |
| | | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| アメリカ | | | % | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | |
| | 国債証券 | US TREASURY N/B 2.375 | 2.375 | 100 | 95 | 10,116 | 2027/5/15 |
| | | US TREASURY N/B 3.5 | 3.5 | 300 | 320 | 33,819 | 2039/2/15 |
| | | US TREASURY N/B 4.375 | 4.375 | 400 | 479 | 50,671 | 2038/2/15 |
| | | US TREASURY N/B 6.125 | 6.125 | 900 | 1,145 | 120,991 | 2027/11/15 |
| | | US TREASURY N/B 7.25 | 7.25 | 500 | 597 | 63,149 | 2022/8/15 |
| | | US TREASURY N/B 7.875 | 7.875 | 400 | 462 | 48,796 | 2021/2/15 |
| | | US TREASURY N/B 8 | 8.0 | 600 | 715 | 75,556 | 2021/11/15 |
| | | US TREASURY N/B 8.5 | 8.5 | 500 | 559 | 59,132 | 2020/2/15 |
| | | US TREASURY N/B 8.75 | 8.75 | 400 | 455 | 48,149 | 2020/5/15 |
| | | US TREASURY N/B 8.75 | 8.75 | 700 | 805 | 85,122 | 2020/8/15 |
| 小計 | | | | | | 595,504 | |
| カナダ | | | | 千カナダドル | 千カナダドル | | |
| | 国債証券 | CANADA-GOV'T 5.75 | 5.75 | 400 | 536 | 43,784 | 2029/6/1 |
| | | CANADA-GOV'T 8 | 8.0 | 600 | 775 | 63,285 | 2023/6/1 |
| | | CANADA-GOV'T 8 | 8.0 | 900 | 1,331 | 108,589 | 2027/6/1 |
| 小計 | | | | | | 215,658 | |
| ユーロ | | | | 千ユーロ | 千ユーロ | | |
| ドイツ | 国債証券 | DEUTSCHLAND REP 4.75 | 4.75 | 500 | 703 | 92,182 | 2028/7/4 |
| | | DEUTSCHLAND REP 6.5 | 6.5 | 500 | 768 | 100,751 | 2027/7/4 |
| 小計 | | | | | | 192,933 | |
| スウェーデン | | | | 千スウェーデンクローナ | 千スウェーデンクローナ | | |
| | 国債証券 | SWEDISH GOVRNMNT 1 | 1.0 | 6,000 | 6,176 | 79,423 | 2026/11/12 |
| | | SWEDISH GOVRNMNT 1.5 | 1.5 | 8,000 | 8,578 | 110,317 | 2023/11/13 |
| | | SWEDISH GOVRNMNT 2.25 | 2.25 | 2,000 | 2,272 | 29,229 | 2032/6/1 |
| | | SWEDISH GOVRNMNT 2.5 | 2.5 | 5,000 | 5,723 | 73,609 | 2025/5/12 |
| 小計 | | | | | | 292,580 | |
| シンガポール | | | | 千シンガポールドル | 千シンガポールドル | | |
| | 国債証券 | SINGAPORE GOV'T 2.875 | 2.875 | 400 | 414 | 33,208 | 2030/9/1 |
| | | SINGAPORE GOV'T 3 | 3.0 | 400 | 418 | 33,576 | 2024/9/1 |
| | | SINGAPORE GOV'T 3.125 | 3.125 | 1,100 | 1,155 | 92,608 | 2022/9/1 |
| | | SINGAPORE GOV'T 3.25 | 3.25 | 900 | 931 | 74,652 | 2020/9/1 |
| | | SINGAPORE GOV'T 3.5 | 3.5 | 1,100 | 1,201 | 96,329 | 2027/3/1 |
| 小計 | | | | | | 330,374 | |
| 合計 | | | | | | 1,627,052 | |

（注）邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2018年３月７日現在）

| 項目 | 第99期末 評価額 | 第99期末 比率 |
|---|---|---|
| | 千円 | % |
| 公社債 | 1,627,052 | 92.4 |
| コール・ローン等、その他 | 133,696 | 7.6 |
| 投資信託財産総額 | 1,760,748 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切捨て。
（注）作成期間末における外貨建純資産（1,648,479千円）の投資信託財産総額（1,760,748千円）に対する比率は93.6％です。
（注）外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは１米ドル＝105.62円、１カナダドル＝81.56円、１ユーロ＝131.10円、１スウェーデンクローナ＝12.86円、１シンガポールドル＝80.15円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項目 | 第94期末 | 第95期末 | 第96期末 | 第97期末 | 第98期末 | 第99期末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2017年10月10日現在 | 2017年11月７日現在 | 2017年12月７日現在 | 2018年１月９日現在 | 2018年２月７日現在 | 2018年３月７日現在 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| **(A) 資産** | **3,583,214,059** | **3,548,361,509** | **3,497,043,568** | **3,508,541,559** | **3,434,587,999** | **3,338,941,425** |
| コール・ローン等 | 59,070,383 | 60,053,110 | 77,617,576 | 40,643,827 | 46,301,517 | 93,768,147 |
| 公社債（評価額） | 1,778,661,126 | 1,762,515,386 | 1,735,191,741 | 1,756,167,335 | 1,698,102,766 | 1,627,052,845 |
| 未収入金 | 1,723,583,056 | 1,699,338,472 | 1,667,483,525 | 1,688,744,110 | 1,662,425,899 | 1,601,444,784 |
| 未収利息 | 19,845,118 | 23,978,046 | 16,218,296 | 22,009,204 | 25,980,846 | 14,757,824 |
| 前払費用 | 1,888,747 | 2,284,729 | 318,931 | 740,731 | 1,515,012 | 1,634,071 |
| その他未収収益 | 165,629 | 191,766 | 213,499 | 236,352 | 261,959 | 283,754 |
| **(B) 負債** | **1,733,248,697** | **1,715,261,424** | **1,681,592,412** | **1,714,533,812** | **1,670,988,950** | **1,584,753,287** |
| 未払金 | 1,726,498,630 | 1,708,642,080 | 1,674,999,020 | 1,707,908,230 | 1,664,413,950 | 1,578,193,020 |
| 未払収益分配金 | 6,360,532 | 6,295,246 | 6,250,593 | 6,250,593 | 6,250,593 | 6,250,593 |
| 未払信託報酬 | 367,037 | 305,221 | 322,846 | 353,180 | 305,646 | 291,583 |
| 未払利息 | 56 | 98 | 125 | 67 | 53 | 136 |
| その他未払費用 | 22,442 | 18,779 | 19,828 | 21,742 | 18,708 | 17,955 |
| **(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）** | **1,849,965,362** | **1,833,100,085** | **1,815,451,156** | **1,794,007,747** | **1,763,599,049** | **1,754,188,138** |
| 元本 | 2,120,177,605 | 2,098,415,660 | 2,083,531,300 | 2,083,531,300 | 2,083,531,300 | 2,083,531,300 |
| 次期繰越損益金 | △ 270,212,243 | △ 265,315,575 | △ 268,080,144 | △ 289,523,553 | △ 319,932,251 | △ 329,343,162 |
| **(D) 受益権総口数** | **2,120,177,605口** | **2,098,415,660口** | **2,083,531,300口** | **2,083,531,300口** | **2,083,531,300口** | **2,083,531,300口** |
| **１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）** | **8,726円** | **8,736円** | **8,713円** | **8,610円** | **8,464円** | **8,419円** |

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第94期270,212,243円、第95期265,315,575円、第96期268,080,144円、第97期289,523,553円、第98期319,932,251円、第99期329,343,162円です。
（注）計算期間末における１口当たりの純資産額は、第94期0.8726円、第95期0.8736円、第96期0.8713円、第97期0.8610円、第98期0.8464円、第99期0.8419円です。
（注）当ファンドの第94期首元本額は2,200,259,439円、第94～99期中追加設定元本額は0円、第94～99期中一部解約元本額は116,728,139円です。

## ○損益の状況

| 項　　目 | 第94期<br>2017年９月８日～<br>2017年10月10日 | 第95期<br>2017年10月11日～<br>2017年11月７日 | 第96期<br>2017年11月８日～<br>2017年12月７日 | 第97期<br>2017年12月８日～<br>2018年１月９日 | 第98期<br>2018年１月10日～<br>2018年２月７日 | 第99期<br>2018年２月８日～<br>2018年３月７日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| **(A) 配当等収益** | **7,396,192** | **5,949,855** | **6,115,196** | **6,848,612** | **5,750,417** | **5,308,903** |
| 受取利息 | 7,396,549 | 5,936,823 | 6,099,310 | 6,828,468 | 5,726,128 | 5,288,614 |
| その他収益金 | 1,049 | 14,587 | 18,937 | 22,853 | 25,607 | 21,795 |
| 支払利息 | △　1,406 | △　1,555 | △　3,051 | △　2,709 | △　1,318 | △　1,506 |
| **(B) 有価証券売買損益** | **△ 21,017,781** | **2,837,350** | **△ 4,099,713** | **△ 21,598,263** | **△ 29,546,100** | **△ 8,124,310** |
| 売買益 | 50,330,687 | 25,096,041 | 24,016,560 | 40,565,160 | 52,602,132 | 77,914,093 |
| 売買損 | △ 71,348,468 | △ 22,258,691 | △ 28,116,273 | △ 62,163,423 | △ 82,148,232 | △ 86,038,403 |
| **(C) 信託報酬等** | **△　462,478** | **△　368,725** | **△　411,443** | **△　443,165** | **△　362,422** | **△　344,911** |
| **(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）** | **△ 14,084,067** | **8,418,480** | **1,604,040** | **△ 15,192,816** | **△ 24,158,105** | **△ 3,160,318** |
| **(E) 前期繰越損益金** | **△231,005,917** | **△248,869,651** | **△244,996,151** | **△249,642,704** | **△271,086,113** | **△301,494,811** |
| **(F) 追加信託差損益金** | **△ 18,761,727** | **△ 18,569,158** | **△ 18,437,440** | **△ 18,437,440** | **△ 18,437,440** | **△ 18,437,440** |
| (配当等相当額) | (　147,673,042) | (　146,157,339) | (　145,120,589) | (　145,120,589) | (　145,120,589) | (　145,120,589) |
| (売買損益相当額) | (△166,434,769) | (△164,726,497) | (△163,558,029) | (△163,558,029) | (△163,558,029) | (△163,558,029) |
| **(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）** | **△263,851,711** | **△259,020,329** | **△261,829,551** | **△283,272,960** | **△313,681,658** | **△323,092,569** |
| **(H) 収益分配金** | **△　6,360,532** | **△　6,295,246** | **△　6,250,593** | **△　6,250,593** | **△　6,250,593** | **△　6,250,593** |
| **次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）** | **△270,212,243** | **△265,315,575** | **△268,080,144** | **△289,523,553** | **△319,932,251** | **△329,343,162** |
| 追加信託差損益金 | △ 18,761,727 | △ 18,569,158 | △ 18,437,440 | △ 18,437,440 | △ 18,437,440 | △ 18,437,440 |
| (配当等相当額) | (　147,673,042) | (　146,157,339) | (　145,120,589) | (　145,120,589) | (　145,120,589) | (　145,120,589) |
| (売買損益相当額) | (△166,434,769) | (△164,726,497) | (△163,558,029) | (△163,558,029) | (△163,558,029) | (△163,558,029) |
| 分配準備積立金 | 57,343,203 | 56,159,582 | 55,214,381 | 55,369,235 | 54,506,637 | 53,220,036 |
| 繰越損益金 | △308,793,719 | △302,905,999 | △304,857,085 | △326,455,348 | △356,001,448 | △364,125,758 |

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）収益分配金

（第94期）
計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,933,714円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（147,673,042円）および分配準備積立金（56,770,021円）より分配対象収益は211,376,777円（10,000口当たり996円）であり、うち6,360,532円（10,000口当たり30円）を分配金額としております。

（第95期）
計算期間末における費用控除後の配当等収益（5,700,191円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（146,157,339円）および分配準備積立金（56,754,637円）より分配対象収益は208,612,167円（10,000口当たり994円）であり、うち6,295,246円（10,000口当たり30円）を分配金額としております。

（第96期）
計算期間末における費用控除後の配当等収益（5,703,753円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（145,120,589円）および分配準備積立金（55,761,221円）より分配対象収益は206,585,563円（10,000口当たり991円）であり、うち6,250,593円（10,000口当たり30円）を分配金額としております。

（第97期）
計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,405,447円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（145,120,589円）および分配準備積立金（55,214,381円）より分配対象収益は206,740,417円（10,000口当たり992円）であり、うち6,250,593円（10,000口当たり30円）を分配金額としております。

（第98期）
計算期間末における費用控除後の配当等収益（5,387,995円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（145,120,589円）および分配準備積立金（55,369,235円）より分配対象収益は205,877,819円（10,000口当たり988円）であり、うち6,250,593円（10,000口当たり30円）を分配金額としております。

（第99期）
計算期間末における費用控除後の配当等収益（4,963,992円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（145,120,589円）および分配準備積立金（54,506,637円）より分配対象収益は204,591,218円（10,000口当たり981円）であり、うち6,250,593円（10,000口当たり30円）を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

| | 第94期 | 第95期 | 第96期 | 第97期 | 第98期 | 第99期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| １万口当たり分配金（税引前） | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 |
| 支払開始日 | 各決算日から起算して５営業日までの間に支払いを開始します。 | | | | | |
| お支払場所 | 取得申込みを取扱った販売会社の本支店 | | | | | |

＜お知らせ＞

・インデックスの名称変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2018年１月26日）

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

# 農業関連日本株マザーファンド
# 第３期　運用状況のご報告
## 決算日：2018年２月14日

「農業関連日本株マザーファンド」は、2018年２月14日に第３期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|---|---|
| 運用方針 | 農業に関連する国内の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 国内の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。 |

## ○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（参考指数） | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | | |
| （設定日）2015年２月23日 | 円 10,000 | % － | ポイント 1,500.33 | % － | % － | % － | 百万円 280 |
| １期（2016年２月15日） | 10,354 | 3.5 | 1,292.23 | △13.9 | 89.8 | － | 748 |
| ２期（2017年２月14日） | 11,658 | 12.6 | 1,539.12 | 19.1 | 90.0 | － | 512 |
| ３期（2018年２月14日） | 13,591 | 16.6 | 1,702.72 | 10.6 | 90.5 | － | 319 |

（注）基準価額は１万口当たり。
（注）設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。
（注）東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。設定日の東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）は設定日前営業日の終値です。
（注）株式先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（参考指数） | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | 騰落率 | | |
| （期首）2017年２月14日 | 円 11,658 | % － | ポイント 1,539.12 | % － | % 90.0 | % － |
| ２月末 | 11,821 | 1.4 | 1,535.32 | △ 0.2 | 92.8 | － |
| ３月末 | 11,831 | 1.5 | 1,512.60 | △ 1.7 | 89.3 | － |
| ４月末 | 12,024 | 3.1 | 1,531.80 | △ 0.5 | 87.6 | － |
| ５月末 | 12,340 | 5.9 | 1,568.37 | 1.9 | 91.6 | － |
| ６月末 | 12,356 | 6.0 | 1,611.90 | 4.7 | 88.8 | － |
| ７月末 | 12,403 | 6.4 | 1,618.61 | 5.2 | 88.8 | － |
| ８月末 | 12,565 | 7.8 | 1,617.41 | 5.1 | 89.1 | － |
| ９月末 | 12,928 | 10.9 | 1,674.75 | 8.8 | 93.0 | － |
| 10月末 | 13,694 | 17.5 | 1,765.96 | 14.7 | 92.2 | － |
| 11月末 | 14,232 | 22.1 | 1,792.08 | 16.4 | 92.0 | － |
| 12月末 | 14,907 | 27.9 | 1,817.56 | 18.1 | 92.1 | － |
| 2018年１月末 | 14,954 | 28.3 | 1,836.71 | 19.3 | 92.4 | － |
| （期末）2018年２月14日 | 13,591 | 16.6 | 1,702.72 | 10.6 | 90.5 | － |

（注）騰落率は期首比。

# 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

（2017年２月15日～2018年２月14日）

（注）参考指数は、東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）です。
（注）参考指数は、期首（2017年２月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

**（主なプラス要因）**

・業種配分では、食料品、化学、機械などが基準価額にプラスに寄与しました。
・個別銘柄では、アグロ　カネショウ、ヨシムラ・フード・ホールディングス、タカキタなどが基準価額にプラスに寄与しました。

**（主なマイナス要因）**

・業種配分では、卸売業が基準価額にマイナスに寄与しました。
・個別銘柄では、住友化学、ホクト、井関農機などが基準価額にマイナスに寄与しました。

## 投資環境

（2017年２月15日～2018年２月14日）

国内株式市場は、米国株式市場の上昇が好感された一方、北朝鮮情勢の悪化など地政学リスクの高まりが嫌気されたことなどから、2017年４月中旬にかけて軟調な展開となりました。その後は、海外経済や企業業績の持続的な改善期待などが支援材料となり、国内株式市場は2018年１月中旬にかけて上昇基調で推移しました。期末にかけては、米国の利上げペースの加速懸念から米国株式市場が下落したことや、円高ドル安が進行したことなどを受けて下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2017年２月15日～2018年２月14日）

当ファンドの運用につきましては、農業関連銘柄の組入比率を70％程度、食料関連銘柄の組入比率を20％程度の構成としました。農業関連では、海外における農薬の売上拡大が見込まれ、株価が下落したことからバリュエーション面での割安感が高まったと判断したクミアイ化学工業などを新規に組み入れた一方、原燃料価格の上昇などによる業績への悪影響が懸念されたホクトなどを売却しました。食料関連では、企業買収による海外での事業拡大余地が大きいと判断したアサヒグループホールディングスなどを新規に組み入れた一方、株価が上昇しバリュエーション面での割安感が後退したと判断したニチレイなどを売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年２月15日～2018年２月14日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、基準価額の騰落率は、参考指数としている東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）の騰落率を6.0％上回りました。

# 今後の運用方針

国内株式市場は、これまでの株価上昇が急ピッチだった反動や、米国の長期金利の上昇に対する警戒感などから、短期的には上値の重い展開となる可能性はあるものの、世界的な景気拡大や日本企業の業績拡大期待が支援材料になり、中期的には上昇基調で推移すると考えます。

当ファンドの運用につきましては、農業・食料・バイオ等、広く農業に関連する国内の株式の中から成長性、バリュエーション等を勘案して銘柄を選定します。

当面は、海外での中期的な事業拡大余地が大きいと考えられる農業機械株などの組入比率を高位とする方針です。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

## ○１万口当たりの費用明細

（2017年２月15日～2018年２月14日）

| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 売買委託手数料 | 24 | 0.185 | (a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株式） | (24) | (0.185) | |
| (b) その他費用 | 0 | 0.001 | (b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （その他） | ( 0) | (0.001) | その他は、金銭信託支払手数料 |
| 合計 | 24 | 0.186 | |
| 期中の平均基準価額は、13,004円です。 | | | |

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2017年２月15日～2018年２月14日）

### 株式

| | | 買付 株数 | 買付 金額 | 売付 株数 | 売付 金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 千株 | 千円 | 千株 | 千円 |
| 国内 | 上場 | 60<br>(△34) | 128,197<br>( － ) | 247 | 355,864 |

（注）金額は受渡代金。
（注）単位未満は切捨て。
（注）（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

（2017年２月15日～2018年２月14日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| (a) 期中の株式売買金額 | 484,062千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 348,205千円 |
| (c) 売買高比率(a)／(b) | 1.39 |

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

（2017年２月15日～2018年２月14日）

### 利害関係人との取引状況

| 区分 | 買付額等 A | うち利害関係人との取引状況B | B/A | 売付額等 C | うち利害関係人との取引状況D | D/C |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | 百万円 | % |
| 株式 | 128 | 24 | 18.8 | 355 | 52 | 14.6 |

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| 売買委託手数料総額(A) | 718千円 |
| うち利害関係人への支払額(B) | 106千円 |
| (B)／(A) | 14.9% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

## ○組入資産の明細

（2018年２月14日現在）

### 国内株式

| 銘柄 | 期首(前期末) 株数 | 当期末 株数 | 当期末 評価額 |
|---|---|---|---|
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| **水産・農林業（6.1%）** | | | |
| サカタのタネ | 11 | 5 | 17,500 |
| ホクト | 13.4 | － | － |
| **食料品（33.0%）** | | | |
| 亀田製菓 | 2 | － | － |
| 岩塚製菓 | 0.1 | － | － |
| アサヒグループホールディングス | － | 3.5 | 19,071 |
| 宝ホールディングス | 30 | 14 | 17,612 |
| 伊藤園 | 2 | 3.5 | 15,277 |
| ハウス食品グループ本社 | － | 4 | 14,420 |
| カゴメ | 9.8 | 4.8 | 17,136 |
| ニチレイ | 15 | － | － |
| ヨシムラ・フード・ホールディングス | － | 7 | 11,935 |
| 日清食品ホールディングス | 1 | － | － |
| **化学（36.9%）** | | | |
| 住友化学 | 30 | － | － |
| 日産化学工業 | 6.8 | 4.4 | 16,830 |
| クレハ | 2 | 2.5 | 17,200 |
| 日本曹達 | 48 | 26 | 16,224 |
| 三井化学 | 50 | 5.7 | 17,955 |
| エス・ディー・エス バイオテック | 21.6 | 15.1 | 11,959 |
| アグロ カネショウ | 14.6 | 7 | 17,045 |
| クミアイ化学工業 | － | 15 | 9,435 |
| **機械（17.0%）** | | | |
| 井関農機 | 30 | 5.5 | 11,891 |
| タカキタ | 39 | 17.9 | 14,105 |
| クボタ | 21 | 11.3 | 23,153 |
| **卸売業（1.4%）** | | | |
| 横浜冷凍 | 20 | － | － |
| 西本Wismettacホールディングス | － | 1 | 3,980 |
| **小売業（5.6%）** | | | |
| ローソン | 1.1 | － | － |
| コメリ | 11.1 | 5.4 | 16,156 |
| 合計 株数・金額 | 379 | 158 | 288,886 |
| 合計 銘柄数<比率> | 22 | 19 | <90.5%> |

（注）銘柄欄の（　）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
（注）合計欄の<　>内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2018年２月14日現在）

| 項目 | 当期末 評価額 | 当期末 比率 |
|---|---|---|
| | 千円 | % |
| 株式 | 288,886 | 90.5 |
| コール・ローン等、その他 | 30,267 | 9.5 |
| 投資信託財産総額 | 319,153 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2018年２月14日現在）

| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| | 円 |
| **(A) 資産** | **319,153,579** |
| コール・ローン等 | 29,423,579 |
| 株式(評価額) | 288,886,900 |
| 未収配当金 | 843,100 |
| **(B) 負債** | **408** |
| 未払利息 | 18 |
| その他未払費用 | 390 |
| **(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)** | **319,153,171** |
| 元本 | 234,826,920 |
| 次期繰越損益金 | 84,326,251 |
| **(D) 受益権総口数** | **234,826,920口** |
| **１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)** | **13,591円** |

（注）計算期間末における１口当たりの純資産額は、1.3591円です。
（注）当ファンドの期首元本額は439,715,768円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は204,888,848円です。
（注）当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン
234,826,920円

## ○損益の状況 （2017年２月15日～2018年２月14日）

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | 円 |
| **(A) 配当等収益** | **6,333,811** |
| 受取配当金 | 6,350,750 |
| 受取利息 | 164 |
| その他収益金 | 466 |
| 支払利息 | △ 17,569 |
| **(B) 有価証券売買損益** | **55,206,856** |
| 売買益 | 67,466,168 |
| 売買損 | △12,259,312 |
| **(C) その他費用等** | **△ 3,347** |
| **(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)** | **61,537,320** |
| **(E) 前期繰越損益金** | **72,900,083** |
| **(F) 解約差損益金** | **△50,111,152** |
| **(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)** | **84,326,251** |
| **次期繰越損益金(Ｇ)** | **84,326,251** |

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(F)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ＜お知らせ＞

該当事項はございません。

## ＜組入上場投資信託証券（ＥＴＦ）の内容＞

Invesco DB Agriculture Fund

「PowerShares DB Agriculture Fund」は、2018年６月４日より「Invesco DB Agriculture Fund」に名称変更となりました。

インベスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシーのアニュアルレポート等を基に、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

### ○組入資産の明細

#### 外国公社債

(2017年12月31日現在)

| 銘柄 | 評価額<br>米ドル |
|---|---|
| U.S. Treasury Bills, 1.180% due January 4, 2018 | 149,990,594 |
| U.S. Treasury Bills, 1.285% due March 1, 2018 | 148,695,730 |
| U.S. Treasury Bills, 1.450% due June 7, 2018 | 136,131,763 |
| U.S. Treasury Bills, 1.285% due February 22, 2018 | 47,914,320 |
| U.S. Treasury Bills, 1.245% due January 18, 2018 | 31,982,453 |
| 合計 | 514,714,860 |

### ○先物取引の状況

#### 商品先物取引

(2017年12月31日現在)

| 銘柄 | 買建額<br>米ドル |
|---|---|
| NYB-ICE Sugar | 82,859,213 |
| CBOT Corn | 80,833,575 |
| CBOT Soybean | 80,304,225 |
| CME Live Cattle | 78,424,060 |
| NYB-ICE Coffee | 72,028,650 |
| NYB-ICE Cocoa | 63,760,400 |
| CME Lean Hogs | 56,903,220 |
| CBOT Wheat KCB | 40,073,962 |
| CBOT Wheat | 40,021,975 |
| CME Feeder Cattle | 25,467,488 |
| NYB-ICE Cotton | 21,072,840 |
| 合計 | 641,749,608 |

## 参考情報：商品先物の構成比率

（2017年12月31日現在）

| 品目 | 比率 | 品目 | 比率 |
|---|---|---|---|
| | % | | % |
| 砂糖 | 12.9 | 豚赤身肉 | 8.9 |
| トウモロコシ | 12.6 | ＨＲＷ 小麦 (注) | 6.2 |
| 大豆 | 12.5 | 小麦 | 6.2 |
| 生牛 | 12.2 | 肥育用素牛 | 4.0 |
| コーヒー | 11.2 | 綿 | 3.3 |
| カカオ | 9.9 | － | － |

（注）比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」のポートフォリオに対する買建額の割合です。資産の状況等によっては100％超となる場合があります。
（注）ＨＲＷ 小麦は米国のカンザスシティ商品取引所に上場されている硬質赤冬小麦（Hard Red Winter Wheat）先物です。